

〔科目名〕 地域と情報ネットワーク	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 専門科目
〔担当者〕 佐々木 てる 三浦 英樹	〔オフィス・アワー〕 時間: 場所:	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 <p>地域社会の活性化、安全安心なまちづくりにとって、効果的な情報発信とネットワーク形成はますます重要な課題となっている。例えば、自治体や NPO による地域住民への情報提供、マスコミによる日々の地域情報の提供、地域密着型企業のインターネット活用による事業活動、災害や防災に関わる情報ネットワーク、官民一体となった地域課題への取り組みなどが挙げられる。</p> <p>地域社会の様々なアクションを促すには、効果的な情報発信、情報交換を図る場や機会としてのネットワーク形成を地域として取り組んでいく必要がある。とりわけ地域(地方や田舎)では十分な情報が得にくく、情報発信やネットワークの形成に様々な課題がある。</p> <p>本講義の前半では、地域を活性化するにあたって、効果的な情報発信の方法や技法、様々な主体とこれらを結ぶために必要となる様々なネットワークの事例を学ぶ。</p> <p>本講義の後半では、地域の活性化や課題解決のために活用される情報通信技術(ICT)の基礎事項とその応用事例について、主要な用語を中心に解説するとともに、国家の政策として情報通信技術(ICT)がどのように位置づけられているのかを学ぶ。また、現在の情報通信技術(ICT)が、人類史の視点で見たときに、どのように位置づけられ、そこにはどのような課題が存在するのかについても考える。</p>		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>地域においては様々なネットワークが存在し、それが社会のインフラとなってわれわれの日常生活の基盤となっている。すなわち地域社会のネットワークやその背景を理解することは、地域社会の活性化の基盤を理解することに他ならない。それらのネットワークを通じて効果的な情報発信の方法を学ぶことや、社会における意味、限界や問題点を認識することは、ゼミ活動や今後の社会での活動に非常に有効な学習の場となる。</p>		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会における様々な情報の役割と課題について学び、効果的な情報発信の方法を考える。前半は特に「社会的ネットワーク」に注目し、ネットワークの根本的な考え方を理解する。 ・ 後半は情報通信技術の活用という観点からその基礎的内容と、地域活性化における情報通信技術(ICT)や情報ネットワーク活用の意義や課題について理解する。 ・ 最終目標は前後半をあわせ、地域社会の活性化につながるような情報ネットワークの構築について理解すること。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>・後半部分については、講義の意図がわかりづらいという意見があったため、講義の内容と目的を明確に示すために、シラバスの記述を加筆修正した。</p>		
〔教科書〕 なし		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 前半：講義の際に指示する。 後半は、以下のとおり。 アンデシュ・ハンセン(久山葉子訳) (2020) 『スマホ脳』 新潮新書。 東京大学工学部建築学科安藤忠雄研究室 (1994) 『建築家たちの 20 代』 TOTO 出版。 山極寿一 (2020) 『スマホを捨てたい子どもたち: 野生に学ぶ「未知の時代」の生き方』 ポプラ新書。 山極寿一 (2022) 『ゴリラからの警告』 毎日文庫。		
〔前提科目〕 なし		

〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)

前半は、最後の授業において試験を行う(50点配分)。

後半は、毎回のリアクションペーパーの内容(20点配分)と最終レポートの内容(30点配分)を合わせて評価する。前後半の評価を総計して、成績評価とする。

〔評価の基準及びスケール〕

A～F に関しては大学の基準に準ずる

〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕

・講義科目ではあるが、一方的にならないように意見を求めることがある。そのため常に緊張感をもって、積極的に発言を行い、科学的な探求精神を養ってほしい。

・今後の学びつながらのような好奇心を育む講義を目指していきたい。分からないことがあれば自身で積極的に調べるなど情報収集に当たってほしい。広く興味関心を広げてほしい。

〔実務経歴〕

授業スケジュール

第1回	テーマ(何を学ぶか): ガイダンス 内 容: 科目内容の確認、授業方針、成績の付け方など全般にかんするガイダンスを行う
第2回	テーマ(何を学ぶか): 社会的ネットワーク(1) 内 容: 社会システム論から学ぶネットワーク概
第3回	テーマ(何を学ぶか): 社会的ネットワーク(2) 内 容: ネットワーク形成と法システム
第4回	テーマ(何を学ぶか): ネットワークの構築(1) 内 容: フィールド調査を中心とした、ネットワーク理解
第5回	テーマ(何を学ぶか): 地域とネットワーク・事例(1) 内 容: 地域社会からみるネットワーク形成
第6回	テーマ(何を学ぶか): 地域とネットワーク・事例(2) 内 容: 地域社会における民間のネットワーク活動。青森の事例から。
第7回	テーマ(何を学ぶか): 前半のまとめ 内 容: 講義前半のまとめとして試験を行う
第8回	テーマ(何を学ぶか): 前半修了試験
第9回	テーマ(何を学ぶか): 後半の講義の概要と目的、① 情報通信技術(ICT)に関する基礎用語と関連項目(1)

	<p>内 容: 地域の活性化や課題解決のための情報通信技術(ICT)の基礎事項と応用について、主要な用語を中心に解説する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか): ① 情報通信技術(ICT)に関する基礎用語と関連項目(2)</p> <p>内 容: 地域の活性化や課題解決のための情報通信技術(ICT)の基礎事項と応用について、主要な用語を中心に解説する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか): ① 情報通信技術(ICT)に関する基礎用語と関連項目(3)</p> <p>内 容: 地域の活性化や課題解決のための情報通信技術(ICT)の基礎事項と応用について、主要な用語を中心に解説する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか): ② 我が国の科学技術政策の中での情報通信技術と Society 5.0 (1)</p> <p>内 容: 我が国の科学技術政策の概要と情報通信技術(ICT)の位置づけと展望について解説する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか): ② 我が国の科学技術政策の中での情報通信技術と Society 5.0 (2)</p> <p>内 容: 我が国の科学技術政策の概要と情報通信技術(ICT)の位置づけと展望について解説する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): ③ 人類史における現在の情報通信技術の位置づけと社会における課題 (1)</p> <p>内 容: 人類史における通信技術(ICT)がもたらす意味とその現代社会にもたらす課題について検討・考察する</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): ③ 人類史における現在の情報通信技術の位置づけと社会における課題 (2)</p> <p>内 容: 人類史における通信技術(ICT)がもたらす意味とその現代社会にもたらす課題について検討・考察する</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	